

# 1-3 歴史都市・京都を「電線のない美しいまち」とするための無電柱化の早期推進

(国土交通省)

## 1 京都の景観の現状

京都の景観は、山紫水明の地に数多くの歴史的建造物や風情ある町並みが、1200年を超える悠久の時の中で融合し、世界有数の優れた景観として今に受け継がれてきました。

しかしながら、電線・電柱がひしめく「通り」は、歴史都市・京都の伝統と趣のある景観を大きく阻害しています。

## 2 無電柱化事業の課題

京都市では、とりわけ歴史的景観に配慮すべき伝統的建造物群保存地区や世界遺産周辺において無電柱化を進めていますが、京都市や電線管理者の費用負担が多額に上るなどの課題があり、進捗を妨げています。

このことから、日本文化の象徴である歴史都市・京都の優れた景観を「国の宝」として受け継いでいくため、次のとおり提案します。

## 3 提案事項

(1) 景観に配慮すべき地区において無電柱化を実施する場合

ア 幹線道路に比べて高額となる整備費に配慮した財政措置

(補助率を1/2から引き上げ)

イ 石畳などにグレードアップする舗装等に対する財政措置

ウ 電線管理者に無電柱化の合意を義務付ける法制度の創設とそれに併せた電線管理者に対する補助制度の創設

(2) 工事完了後の速やかな電柱撤去を促進するための補助制度の創設

(3) 無電柱化の促進、景観の向上や歩行空間の確保に資するコンパクトな地上機器の開発等に対する補助制度の創設

## 4 要望事項

国直轄事業における無電柱化事業の推進

所管の省庁課：国土交通省（道路局路政課，国道・防災課，環境安全課）

京都市の担当課：建設局 建設企画部 建設企画課長 大西功 TEL 075-222-3551

建設局 道路建設部 道路環境整備課長 畑中功 TEL 075-222-3570

# 伝統と趣のある景観を阻害する電線・電柱

## 現状

多くの観光客が訪れる  
清水寺周辺

世界遺産周辺地域

## 無電柱化の取組例



### 無電柱化進捗

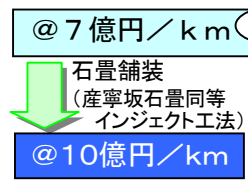
無電柱化の進捗状況 ~道路延長で見た場合と管路延長で見た場合別~ (単位: km)

管理者	京都市			国土交通省(直轄国道)			計	整備率
	幹線系	景観系	小計	幹線系	景観系	小計		
道路	総延長						50	1.50%
	無電柱化済	26.8	6.6	33.4	20.0	0.0	20.0	
管路	総延長						100	2.23%
	無電柱化済	47.9	7.0	54.9	40.0	0.0	40.0	

※管路延長  
幅員の広い道路においては道路の両側に電線を通す共同溝を埋設するため、実際に地中に埋設する管の延長を表す。

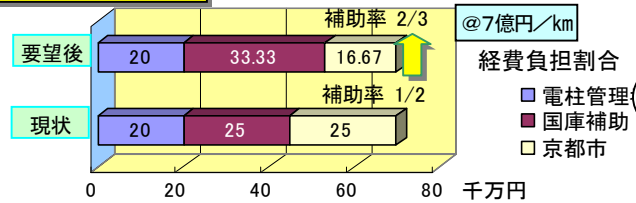
## 主な課題と提案実現による効果

### グレードアップ舗装



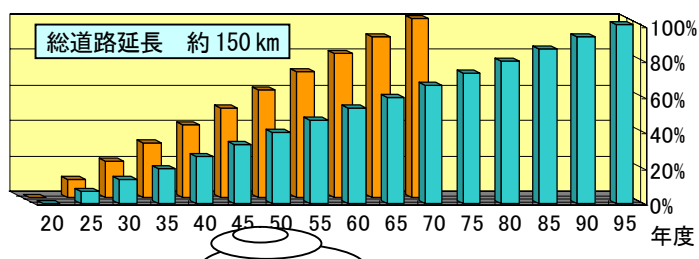
【課題】グレードアップ舗装は割高で、整備が進まない。  
【効果】財政措置により、伝統的建造物保存地区などにおいては、石畳舗装等のグレードアップ舗装が進み、京都の優れた景観を守ることができる。

### 無電柱化整備事業

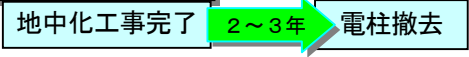


【課題】工事完了後の電柱撤去に時間がかかる。  
【効果】補助制度の創設で、予算が確保でき、計画的な電柱の撤去が促進される。

### 重点整備対象地域無電柱化率進捗予測



### 電柱未撤去例



【課題】補助率1/2では、100%の整備に平成95年度までかかる。

【効果】補助率2/3になれば、100%無電柱化が25年も早く実現できる。